

# 公益社団法人日本農芸化学会

## 2019年度 関東支部例会

報告者 松島 芳隆 (東京農業大学・農芸化学科)

令和元年12月7日(土)、東京農業大学世田谷キャンパス・1号館にて2019年度支部例会が開催されました。本年より、支部例会が一回の開催となったこともあり、農芸化学奨励賞の受賞講演(関東支部所属の4名の先生方)と本大会のトピックス賞受賞講演を一日で開催する運びとなりました。

本年3月開催の東京大会の一般講演1,676件のうち、29件がトピックス賞に選抜されました。関東支部では、責任発表者が当支部に所属するトピックス賞に選抜された演題を一括で聴ける機会を設けようとの考えからこの企画が実施され今回で4度目となります。対象となった14件の分野別選抜状況を以下に示します(うち13件が今回の支部例会でご発表を頂きました)。個人的には有機化学・天然物化学分野の選抜数(割合)が少なく、また関東支部でのご発表もなかったことが残念でした。

分野	環境科学 バイオマス利用	有機化学 天然物化学	酵素	食品	微生物	動物	植物	生物科学
総数 1676	79	284	91	374	487	125	121	114
選抜 29	2	3	2	9	8	2	2	2
割合 %	2.5	1.1	2.2	2.4	1.6	1.6	1.7	1.8
<b>関東 14</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>

講演会は定刻に開会しました。各講演は奨励賞の受賞講演が25分の枠(4名)で午前中に、また午後にはトピックス賞受賞のご講演を20分の枠(13件)で、休憩2回を挟み、3つのセッションにわけて17時30分頃まで行われました。各セッションでは、聴衆のみなさまからの質問も多く、活発な議論がなされました。朝から雪混じりの雨が降るなど、この冬一番寒い日となりましたが、お越しくくださった総勢68名のみなさまに感謝申し上げます。下記はそれぞれのご講演者とご講演タイトルです(裏面に続く)。



### <2019年度農芸化学奨励賞 4件>

笠井 大輔 (長岡技術科学大学)

「細菌の酸素添加酵素が関わる代謝系の解析と物質変換技術への応用」

高妻 篤史 (東京薬科大学)

「電気活性細菌のエネルギー代謝と電流生成を制御する分子機構の解明」

鈴木 道生 (東京大学)

「バイオミネラル化を制御する有機基質の構造と機能に関する研究」

渡辺 智 (東京農業大学)

「シアノバクテリアから見出された増殖機構・環境適応機構の可塑性と有用物質生産への展開」

# JSBBA KANTO

## <トピックス賞受賞 13件 >

加藤 由悟(東京大学)

「乳酸菌を模倣した金ナノ粒子合成手法の開発」

永久保 利紀(筑波大学)

「環状イミン構造を有するβ-カルボリンアルカロイド分解酵素の発見」

佐藤 優太(東京大学)

「タマネギ由来催涙因子合成酵素の触媒機構」

大池 秀明(農研機構)

「高脂肪食の時間制限給餌によるSAMマウスの聴覚老化の遅延」

陶山 達矢(山崎製パン)

「食後血糖値の予測を目的とした食品の試験管内糖化速度測定法(GR法)の開発」

田中 一己(慶應義塾大学)

「米ぬか摂取による大腸炎抑制効果は腸内細菌叢由来トリプトファン代謝物質がもたらす」

永井 俊匡(高崎健康福祉大学)

「ラットの幼若期における咀嚼刺激が海馬の遺伝子発現と記憶能力に与える影響」

久知良 桃花(筑波大学)

「空間的・代謝的な相互作用を介した細菌と真菌の新たな相利共生戦略」

安井 瑞稀(筑波大学)

「米麹におけるコウジカビの破精込みの蛍光イメージング解析」

鈴木 健吾(株式会社ユーグレナ、理化学研究所)

「ユーグレナ油脂生産における硫黄に関する副次的反応の解明」

石毛 和也(ヤマサ醤油)

「Cyclic GMP-AMP 量産化技術の確立」

長田 和樹(東京理科大学)

「神経性疼痛物質オピオイドの腸管免疫における炎症抑制作用」

六川智博(東京農業大学)

「ドーパミン D1/5 受容体による cAMP 情報伝達経路活性化を介した海馬依存性記憶制御」

事前に、特にトピックス賞のご講演者には「一般講演では当日会場に足を運ばなかった聴衆が大勢を占めると思っていたかまして、できるだけ分かりやすく、背景事情などについてもあえてたくさん触れて欲しい」と大変難しいお願いをしていたこともあり、いずれも興味深く大変わかりやすいご講演をして頂きました。そのため、参加者からさまざまな質問が寄せられたと感じました。ありがとうございます。

閉会後は場所を本学「食と農」の博物館1Fにございますレストランeggに移し、懇親会を開催しました。総勢20名での交流の場となり、大変有意義な時間を過ごすことができました。

なお、天気に恵まれなかったとは言え、このような幅広く素晴らしいご講演内容を一度に聴ける機会にも関わらず、参加者が少ないとのことご苦言も頂きました。今後の活動の中で改善できるよう鋭意工夫、努力をしたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

末筆ではございますが、ご講演していただきました先生方、遠方よりご参加くださった方々、また、運営に協力して頂きましたみなさまに感謝申し上げます。



小林支部長のご挨拶(懇親会)